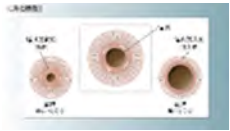
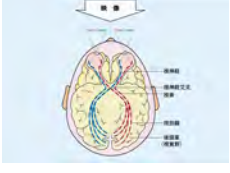
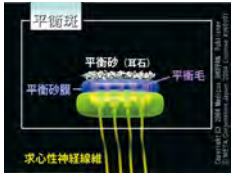
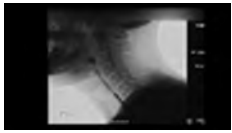
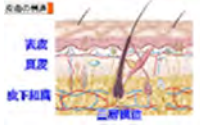




ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
眼の解剖生理 (5分11秒) 		光の量を調整する虹彩と瞳孔の動きや、水晶体の厚みを変化させるピントの調節について解説する。網膜の構造では、光の刺激を信号に変え視神経を通して脳に伝えるしくみをみる。	1章 眼の構造と機能
視覚の遠近調節 (1分25秒) 		眼球のレンズの役割をする水晶体は、チン小帯の張力により厚みが変化し、遠近調節が行われる。	1章 眼の構造と機能
眼球の動きと神経支配 (2分) 		3D 人体映像	1章 眼の構造と機能
検眼鏡による赤色反射の観察 (50秒) 		検眼鏡を用いて少し斜め前から赤色反射を観察する。患者は検眼鏡の光を直視しないようにする。	3章 眼科で行われる検査 11節 眼底検査
視野欠損と視覚路の障害部位 (31秒) 		視神経(視覚路)の障害部位と、それによって発生する視野欠損との関係について解説する。	13章 視神経・視覚伝導路の疾患 4節 視覚伝導路の疾患
耳鼻咽喉の解剖生理 (5分57秒) 		外耳で音を集め、中耳で音を増幅し、内耳で音を信号に変え、脳に伝えるしくみや、バランスを保つ平衡覚のしくみ、固有鼻腔と副鼻腔の構造、声門の開閉の動きなどを解説する。	17章 耳鼻咽喉の構造と機能
聴覚伝導路のしくみ (1分34秒) 		聴覚器は外耳、中耳、内耳より構成されており、外耳は耳介と外耳道、中耳・内耳は鼓膜・耳小骨・蝸牛などで構成されている。	17章 耳鼻咽喉の構造と機能

眼／耳鼻咽喉／歯・口腔／皮膚

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
平衡覚伝導路のしくみ (1分21秒) 		平衡覚は内耳で認識される。内耳の平衡斑にある平衡砂・平衡膜・平衡毛の動きにより、刺激が神経に伝えられ平衡覚として認識される。	17章 耳鼻咽喉の構造と機能
呼吸と嚥下 (48秒) 		口腔から咽頭までの間は、呼吸のためのはたらきと摂食・嚥下のためのはたらきの両方の機能を有している。呼吸と嚥下、それぞれの動きを理解しよう。	17章 耳鼻咽喉の構造と機能
嚥下内視鏡検査 (VE) (44秒) 		経鼻内視鏡を用いて、嚥下咽頭期の動態を観察する。	19章 耳鼻咽喉科で行われる検査 8節 嚥下機能検査
嚥下造影検査 (VF) (26秒) 		嚥下中の造影物の移動と咽頭喉頭の動きを観察する。	19章 耳鼻咽喉科で行われる検査 8節 嚥下機能検査
歯・口腔の解剖生理 (4分54秒) 		歯と口腔の構造、食物を咀嚼するときの顎関節の動き、顎・顔面部の神経について解説する。	29章 歯・口腔の構造と機能
皮膚の解剖生理 (3分3秒) 		表皮の大部分を占める角化細胞が最下層で分裂し、成熟しながら上方の層へ移行していく皮膚のターンオーバーの動きを紹介する。	39章 皮膚の構造と機能
足の爪のケア (1分49秒) 		足の爪をケアする場合には、爪と皮膚の境目に注意し、皮膚を切らないように注意する。仕上げに爪ヤスリを使って形を整える。	39章 皮膚の構造と機能